

◆いつでも使える交流の技

交流方法	ねらい	特 徴	場 面
①探しの技	話し合うための「共通の土台」をもたせる。	自分と同じ考えをもっている人はだれか、自分と異なる考えをもっている人はだれかを探す。	いろいろな考えが生まれ、意見が広がってしまったとき。
②準備の技	どうしてそう考えたのか、自分の考えてきた道筋を共有する。	同じ考えを持った仲間同士で集まり、全体交流に向けて、お互いに考えたことを伝え合い、共有する。	反対意見による議論の場や、それぞれの意見を戦わせたりするとき。
③推理の技	相手の考えを推理することで、自分の考えとの比較を促す。	相手がどのような考えを持ち、どうしてそう考えたのかを推理して当てる。	考えが同じでも理由や根拠が異なったり、理由や根拠が同じでも考えが異なったりするとき。
④助言の技	アイデアを得て、よりよい取組ができるように促す。	お互いにアドバイスを送り合うことで、よりよい考えを練り上げる。	書くことに抵抗を感じていたり、よりよい考えを練り上げたりするとき。
⑤質問の技	自分の考えを確かなものにして、意見を明確にする。	相手に質問を投げかけ、どんな考えを持っているのか、どうしてそのように考えたのかを追求し、確かめる。	考えが曖昧（ ^{あいまい} はっきりしないこと）で、はっきりしていない状態が生まれたとき。
⑥相談の技	短時間で取り組み方や考えを共有する。	何人かで集まり、思ったことや感じたこと、考えたことを自由に話し合う。	一人で考えることがむずかしく、なかなか自分の考えを固めることができないとき。